

紋別高等看護学院は、ナイチンゲールの夢に向かって学びをサポートしています。また、豊かな感情体験の中で人を愛し、相互に価値観を受け入れ、理解し合う体験を大切にしています。



令和6年4月に新校舎に移転します。新校舎では、機能性や快適性を備えた質の高い学習環境・生活環境となるように準備中です。



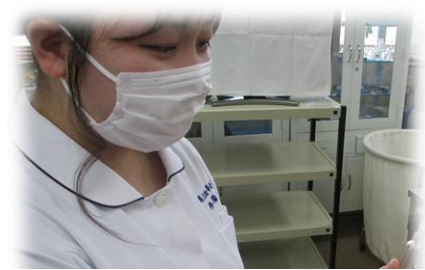
教育理念

人と人との関係の中で自己を養い、自他ともに価値ある存在として個人を尊重し、道東・道北の保健医療福祉に貢献できる人材を育成する。



2023年 第112回看護師国家試験
合格率 95.6% (全国 95.5%)

各種奨学金や学びの支援 (独立行政法人
日本学生支援機構、専門実践教育訓練給
付金、紋別市看護師修学資金制度 他)



北海道立
紋別高等看護学院



令和4年度入学 Aさん
(北海道留辺蘂高等学校卒業)

私は、本学院に入学し、高校までの学習とは違い、専門教科を学んできましたが、どの教科も難しいものばかりでした。授業で学び、演習で実践を繰り返しますが、本当に自分の知識、技術として身につけているのか不安でした。

1年生の時の、初めての病院実習の時に、実際の患者様を受け持たせていただきました。患者様との関わりは、学院内だけでは得ることのできない学びを多く得ることができました。また、今まで学んできた知識や技術が確実に、自分の力になっていることを実感することができました。

本学院は、北海道の道立の看護学校のため学費が安く、経済的な負担が少ないです。また、先生方も親身に寄り添ってくれ、安心して看護を学ぶことができる学校だと思います。

令和4年度入学 Sさん
(北海道網走南が丘高等学校卒業)

入学当初は、学年に男子学生が1人で、今までと違う環境で不安なことが沢山ありました。今は、看護師を目指す仲間と支え合いながら看護の知識や技術を学び、充実した学院生活を送ることができています。

私は、勉強が苦手ですが、先輩方や先生方のサポートのおかげで頑張ることができています。理想の看護師になれるように、日々努力を惜みず、経験を積んで頑張っています。

令和4年度入学 Dさん
(北海道別海高等学校卒業)

私は、患者様や家族の心情に寄り添える看護師を目指して本学院に入学しました。

1年生の時は、解剖生理学の学習、臨地実習で右も左もわからず、さらに新しい環境に慣れるのに時間がかかり、多くの不安がありました。しかし、指導者の看護師や教員が優しく教えてくれ、授業で学んだ知識や技術を活かすことができました。また、看護は相手の立場に立ち行動することが大切であり、普段の生活にも密接しているため、日々の生活での経験も自分の成長に繋げていきたいです。

寮の共同生活は、先輩や後輩と一緒に過ごすことで、礼儀や接し方など、人としての成長にもつながり楽しいです。

先輩からのメッセージ

同じ目標に向かって

頑張っている皆さんへ

令和4年度入学 Bさん
(北海道網走桂陽高等学校卒業)

入学当初は、慣れない環境での生活や実習への不安がとても大きかったです。仲間と励まし合い、また先輩や先生方の力強いサポートのおかげで、夢に向かって頑張ることができています。

初めての臨地実習では、初めて体験することばかりで戸惑うことが多く不安の毎日でしたが、同じグループメンバーで助け合い、先生方の丁寧なサポートを受けることで看護の基礎知識や技術を学び成長することができました。

寮生活では、同学年だけではなく先輩や後輩と過ごすことで、礼儀や接し方を学ぶことができ、人として成長する経験を積むことができます。

今後も、患者様との関わりからの学びを大切に、患者様に寄り添うことができる看護師を目指して努力していきます。